

活動情報



第27号



大豆新品種「ふくよかまる」と農作業安全対策について学ぶ

－ 飯塚地域担い手・産地育成総合支援協議会の研修会開催 －

令和7年1月30日に飯塚地域担い手・産地育成総合支援協議会水田農業班と新規就農対策班は合同で、JAふくおか嘉穂本所大研修室にて研修会を開催しました。

研修会の対象者は、新規就農者、土地利用型大規模農業者、集落営農組織、大豆生産者と協議会の各班員で、50名が参加しました。

研修会では、初めに、「農作業の安全対策について」と題し、普及指導センター水田農業系の職員が講演を行いました。講演では、実際に起こった事故と事故による様々な影響、そして事故を防ぐための取組や考え方等を説明しました。

次に、農林業総合試験場農産部の研究員から、「大豆新品種「ふくよかまる（ちくしB5号）」について」と題し、講演していただきました。講演では「ふくよかまる」は6月下旬から播種できるため、「フクユタカ」に比べて「播種適期が長く、収量が安定すること」「フクユタカ」より「収量が8%多いこと」等が説明されました。

飯塚地域では令和7年から大豆の品種を「ふくよかまる」に全面的に切り替えることから、参加者は熱心に聞き入り、積極的に質問していました。

今後も普及指導センターは関係機関と協力し、新規就農者や土地利用型経営体の支援を行っていきます。



「ふくよかまる」と「フクユタカ」 草姿(左) 子実(右)



「ふくよかまる」について 講演